

学校ニーズを起点としたマッチングのご案内

学校からの具体的なニーズをサポート企業へお知らせし、支援可能な企業と結びつけるマッチングを行います。

新たなマッチングのねらい

- 学校にとって、事前リサーチなどの負担を少なく、ニーズに対応可能な企業等と出会う。
 - 企業等にとって、学校の具体的なニーズが見えることで、支援可能か検討しやすく、参画へのハードルが低くなる。
- ▶ 学校の個別のニーズを基することで、精度を上げたマッチングを実現し、スムーズな制度の活用を促進。

学校のニーズの登録によるマッチングの流れ

【学校の個別のニーズに対応した流れ】

学校のニーズを起点に連携

- ① 学校のニーズを登録
【学校→教育委員会】
- ② 全ての登録企業に学校のニーズを連絡
【教育委員会→企業】
- ③ 学校のニーズに対応できる企業等が返答
【企業→教育委員会】
- ④ 企業等の返答状況を学校に連絡
【教育委員会→学校】
- ⑤ 連携したい企業等へ学校から連絡
【学校→企業】
- ⑥ 学校と企業等で日時・内容を調整
【学校⇄企業】
- ⑦ 支援の実施

【通常の流れ】

学校が企業等の登録リストを活用

- ① 企業等が支援可能な内容を登録
【企業→教育委員会】
- ② 市内小・中学校等で登録情報を共有
【教育委員会→学校】
- ③ 学校から企業等へ支援を依頼
【学校→企業】
- ④ 学校と企業等で日時・内容を調整
【学校⇄企業】
- ⑤ 支援の実施